



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十一章5、6節

一般財団法人 ジェネシスジャパン 2026年3月3日
ニュースレター 第70号
〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3652-306-3
電話 029-292-9621 ファックス 03-6862-8340
メール info@genesishjapan.com ホームページ genesishjapan.com



アダムの罪とその影響

あなたは園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べる時、あなたは必ず死ぬ。

創世記 2:16-17

Paradiso terrestre
by Johann Wenzel Peter

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

死に向かって死に続ける

冒頭の聖書の言葉は、天地創造の第六日にアダムが創造主から告げられた言葉で、善悪の知識の木の実を食べると必ず死ぬと語られています。ところが創世記3章で、アダムは善悪の知識の木の実を食べてしまいます。

しかし彼は即座には死なず、930歳まで生き続けました(創世記5:3)。ですから、この聖書箇所を読むときに矛盾を感じ、困惑を覚える人は多いでしょう。

これはヘブル語の文法がわかる

と簡単に納得できます。「あなたは必ず死ぬ」と訳された言葉は、ヘブル語では「死」、英語の聖書で逐語訳(YLT)では"dying thou dost die"と訳されていて、"die"という動詞が2回繰り返されています。

これはヘブル語の同語反復的不定詞絶対形の構文です。最初の"dying"が不定詞絶対形、2つ目の"die"は定動詞です。この構文は、文脈に応じて「動詞の強調・確定」「動詞の継続・進行」など柔軟に意味が変わります。¹

創世記2:17では、「動詞の強調・

確定」の意味で「必ず死ぬ」と訳されていますが、文脈から「動詞の継続・進行」を意味すると判断できます。その場合、「死に続けて死ぬ」あるいは「死に向けて死に続ける」となります。意識すると「老化して死ぬ」です。そうすると、アダムが罪を犯した時に老化が始まり、930歳で死んだという聖書の記録と矛盾しません。

聖書の中で同様の表現がなされているのが、「彼らは必ず荒野で死ぬ」(民数記26:65)と訳された箇所です。ここも「彼らは荒野で死に続けて死ぬ」の意味で理解す



べき箇所です。出エジプトしたイスラエル人たちが、主の命令に逆らったために、当時 20 歳以上の大人たちは荒野で死に、カナンの地に入れなくなりました。彼らは荒野で即座に死んだのではなく、40 年間荒野を旅する中で徐々に死んでいき、最後には全員が死んだのです（民数記 26:64）。

さて、最初の人アダムは、永遠に生きるように創造され、人は老化しませんでした。しかし彼が罪を犯した結果、この世に死が入りました（創世記 3:19, ローマ 5:12）。彼は即座に死んだのではなく、死に向かって老化し（死に続け）ていったのです。ですから創世記 2:17 は「死に向けて死に続ける」と行動の継続・進行の意味で理解する必要があります。

しかもアダムの罪の影響は、人だけでなく、アダムの支配下にあったすべての被造物にまで及んだのです（ローマ 8:19-22）。

進化論のジレンマ

ダーウィンは 1859 年に『種の起源』を出版し、生物は自然に発生して進化してきたという進化論を主張しましたが、その 2 年後、聖書を信じていたパスツールによって『生命の自然発生説』が否定されました。

また、メンデルが『遺伝の法則』を発表し、その後遺伝子の存在とその仕組みが明らかになってくるにつれ、親の遺伝子と同じ形質が子に受け継がれることがわかってきました。

これは、聖書にある通り、動物や植物が『種類にしたがって』造られたことを示しています。動物の種類は、ネズミ科、ネコ科、イヌ科、クマ科、ウマ科などたくさ

んの科に分類できますが、ネズミ科からは、ネズミ科の動物しか生まれません。ネズミからネコに進化することはありません。

パスツールやメンデルの発見は、生物の自然発生も進化も否定したのです。しかし進化論者たちは、進化論をあきらめませんでした。それまでのダーウィン主義の代わりに、新ダーウィン主義を主張したのです。これは、自然選択と遺伝子の突然変異が主な原動力となって進化してきたという考えで、次のような過程をたどります。

1. 親から子が生まれる時、遺伝子の一部が突然変異を起こす。
2. その突然変異を起こした個体が環境に適応して生き残る。
3. 1と2が繰り返されることで、際限なく遺伝子は変化し、それによって異なる動植物へと進化する。

果たして、このような小さな突然変異の蓄積が、他の生物への進化をもたらすのでしょうか。1920 年代から、キイロショウジョウバエに X 線を照射し、突然変異を起こさせる実験が繰り返されてきました。一連の実験でこれらは進化し、自然選択で生き残ったのでしょうか。

実験の結果は、突然変異によっては奇形や部位欠損のあるショウジョウバエが生じるだけで、進化するどころか、生存も困難な個体が出現したのです。

2013 年 7 月、オックスフォード大学名誉教授の生理学者、デニス・ノーブル博士は「現代進化論（新ダーウィン主義）の中心にあるすべての仮説が誤りであることが証明された」と述べました。²

今日わかってきたことは、突然変異が起こると、その遺伝子の部位本来の働きができなくなるということです。このため時と共に遺

伝性疾患が徐々に増えています。近親結婚が禁じられているのも、近親者同士は遺伝子の同じ部位が突然変異を起こしている可能性が高く、遺伝性疾患を引き起こしやすいからです。

聖書から分かることは、最初の人アダムが造られた時、人もすべての被造物も『非常によかった』（創世記 1:31）のです。最初に造られた生物の遺伝子には、突然変異が全くなく、完全でした。

しかしアダムが罪を犯した結果、突然変異が起こるようになり、その突然変異が子孫へと遺伝し、少しずつ蓄積され、現在知られているような遺伝性疾患の原因となっています。

元コーネル大学教授で植物遺伝学者、ジョン・サンフォード博士は、「突然変異の蓄積がもたらす真実のすべては、突然変異が進化を前進させる役割を担う可能性の反証である」³と述べています。

彼は「メンデルの会計 (Mendel's Accountant)」という突然変異のシミュレーションプログラムを開発し、これによって突然変異の蓄積が与える遺伝子への悪影響が、どのように清算されるかを明らかにしました。

突然変異は、本来遺伝子が果たしていた良い役割を損ない、機能不全をもたらします。それは生物を進化させる原動力どころか、生物を絶滅させる原動力となっているのです。³

私も彼と会って話す機会があり、そのとき彼は「多くの人は、環境の変化が動植物の絶滅をもたらしていると考え、環境の保全に注力しているが、本当の問題は環境にではなく突然変異の蓄積にある。これが動植物の絶滅をもたらす主要因となっている。多くの

遺伝学者はそのことを知っているが、それは生物全体が絶滅に向かっていることを意味するため、公言されることはない」と言っていました。

人の寿命

アダムの罪の結果もたらされた突然変異は、生物の寿命にも影響を与えるようになりました。

聖書を見るとアダムは930歳で死んだとあります。現代の日本人の平均寿命は約80歳ですからそんなことはありません。しかし、聖書に記録されている人物の寿命の変遷を統計学的に見ていくと、その記述が妥当であることがわかります。

図1のグラフの一番左の点は、ノアを第一世代とし、その享年を示しています。同様に聖書に記された人物の享年とノアから数えて第何世代かの相関関係をグラフで示しています。

この寿命と世代を表すグラフから、興味深いことがわかってきます。次の世代の寿命は前の世代の寿命の88%で、少

ずつ短くなっているのです。この寿命と世代の相関関係は非常に高く、94%適合 (R^2 値 = 0.94) していることが示されました。⁴

聖書の中で近親結婚が禁じられたのは、紀元前15世紀頃、モーセに率いられて出エジプトした時です。それまでは、近親結婚は問題ありませんでした。アダムとエバの子どもたちは、すべて兄弟姉妹同士、あるいは他の近親者と結婚していました。紀元前20世紀頃、アブラハムは異母妹のサラを妻としました。紀元前16世紀頃、モーセの父アムラムは、叔母の娘ヨケベデと結婚しています。

近親結婚が問題とならなかった理由は、遺伝子の突然変異があまり蓄積されておらず、悪影響をもたらすことはなかったからでしょう。

現代では、遺伝子が複製される度に、遺伝子のどこかが突然変異を起こしており、それまでに受け継がれてきた突然変異に加えて新たな突然変異が子孫へと伝わっていくことがわかっています。

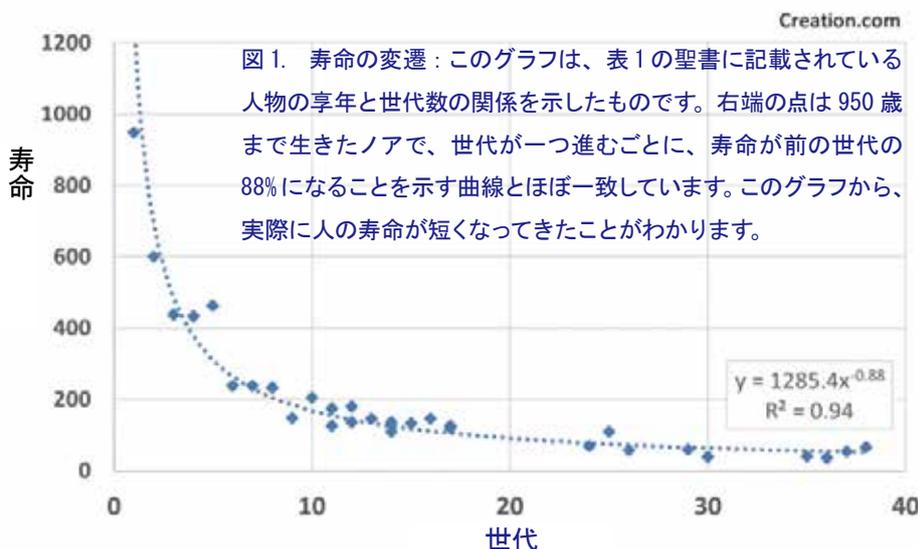
人の遺伝子は、約30億対の

塩基の組み合わせから成っていて、これは人の設計図と見ることができます。突然変異が起こると、全体から見ればほんのわずかですが、本来の遺伝情報が失われます。設計図上の誤りが増えていくのです。

遺伝子にはテロメアと呼ばれる部分があり、細胞分裂が起こる度にこのテロメアの長さが短くなっていきます。テロメアの長さが細胞分裂の回数と深く関わっていて、その回数が少なくなるほど寿命も短くなります。サンフォード博士は、突然変異によってテロメアの長さを決める遺伝子や複製に関与する遺伝子が損傷

| 人物名 | 誕生 (AM) | 誕生 (BC) | 世代 | 享年 |
|---------|---------|---------|----|-----|
| ノア | 1056 | 2847 | 1 | 950 |
| セム | 1558 | 2345 | 2 | 600 |
| アルパクシャデ | 1658 | 2245 | 3 | 438 |
| セラ | 1693 | 2210 | 4 | 433 |
| エベル | 1723 | 2180 | 5 | 464 |
| ベレグ | 1757 | 2146 | 6 | 239 |
| レウ | 1787 | 2116 | 7 | 239 |
| セルグ | 1819 | 2084 | 8 | 234 |
| ナホル | 1853 | 2050 | 9 | 148 |
| テラ | 1882 | 2021 | 10 | 205 |
| アブラハム | 1952 | 1951 | 11 | 175 |
| サラ | 1962 | 1941 | 11 | 127 |
| イシュマエル | 2038 | 1865 | 12 | 137 |
| イサク | 2052 | 1851 | 12 | 180 |
| ヤコブ | 2112 | 1791 | 13 | 147 |
| ヨセフ | 2203 | 1700 | 14 | 110 |
| レビ | 2200 | 1697 | 14 | 137 |
| コハテ | -- | -- | 15 | 133 |
| アムラム | -- | -- | 16 | 147 |
| ミリアム | 2371 | 1532 | 17 | 126 |
| アロン | 2374 | 1529 | 17 | 123 |
| モーセ | 2377 | 1526 | 17 | 120 |
| ヨシュア | -- | -- | 25 | 110 |
| ダビデ | 2931 | 972 | 24 | 70 |
| レホボアム | 2988 | 915 | 26 | 58 |
| ヨシャバテ | 3054 | 849 | 29 | 60 |
| ヨラム | 3061 | 842 | 30 | 40 |
| ヨタム | 3171 | 732 | 35 | 41 |
| アハズ | 3187 | 716 | 36 | 36 |
| ヘゼキヤ | 3216 | 687 | 37 | 54 |
| マナセ | 3260 | 643 | 38 | 67 |
| アンナ | 3815 | 88 | -- | 84 |

表1 聖書の人物の寿命
(AM: 創造紀元, BC 西暦紀元前)



を受けていることが、徐々に寿命が短くなっている主要因だと述べています。

聖書にはモーセの祈りが書かれていて、そこには「**私たちの齢は七十年。健やかであっても八十年(詩篇 90:10)**」とあり、モーセ自身は120歳まで生きていますが、当時の平均寿命はそれくらいだったと考えられます。

江戸時代は、人の平均寿命が40歳くらいでした。しかし、その後の医療の発達は、飛躍的に寿命を延ばしました。私も子どもの時に手術を受けたことがあり、もし現代医療がなければ早いうちに死んでいたかもしれません。

死からいのちへ

聖書からわかることは、アダムが罪を犯した結果、人も万物も死に向かって死に続けているということです。人や動物が老化して死ぬのも、動植物に絶滅が起こっているのも、アダムの罪の結果なのです。「**私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。(ローマ 8:22)**」と

ある通りです。しかし聖書はそれだけではなく、やがて「**被造物自体も、滅びの束縛から解放され(ローマ 8:21)**」ることを述べています。それが起こるのは、黙示録20章に記されている千年間だと考えられますが、その時はオオカミもライオンもクマも、羊や牛と共にいても害を加えることがないとあります(イザヤ 11:6-9)。

さらに、やがて造られる新しい天と地においては、キリストの贖いによって救われたすべての人は、罪の性質がなくなり、再び『非常に良い』状態になります。

「**そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にさせていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。私たちは、この望みによって救われているのです。(ローマ 8:23,24)**」

私たちは、死に向かって死に続けている世界にいますが、キリストの救いに希望を抱いています。私たちのからだの贖われる日を待ち望みつつ、福音を証ししながら人生の旅路を歩んでいきましょう。

コラム：アダムの罪がもたらした死

聖書の歴史と進化論の歴史は相入れません。進化論は、人が出現する前から死と絶滅があったとしますが、聖書は、アダムが罪を犯すまで死はなかったと述べているからです。残念なことに、進化論を信じてしまった神学者の多くは、進化論の歴史通りに人は最初から死ぬ存在だったと主張するようになったのです。

しかし聖書は、アダムの罪が肉体的死をもたらしたことを語っています(創世記 3:19)。キリストの十字架上の贖いも、肉体的に死と肉体的復活が伴っていました。

永遠の御国では、私たちが新しい体を与えられ、罪の性質も罪を犯すこともなくなり、永遠のいのちを得て、主と共に過ごせるようになるのです。

引用文献・参考文献

1. "Infinitive Absolute", unfoldingWord Hebrew Grammar. <https://uhg.readthedocs.io/en/latest/infinitive_absolute.html>
2. Noble, D., Physiology is rocking the foundations of evolutionary biology, Exp Physiol. 98(8):1235-43 | doi: 10.1113/expphysiol.2012.071134.
3. Sanford, J. C., "Genetic Entropy and the Mystery of the Genome" 3rd. edn. FMS Publications, New York, 2008, p.25
4. Carter, R. "The rapid decline in biblical lifespans" Creation Ministries International, 5 Oct, 2021, <<https://creation.com/en/articles/rapid-decline-biblical-lifespans>>

図 1. ibid 4.

表 1. ibid 4.

講義・イベント予定

2026年

■春の創造セミナー

日程：2026/3/26-28

会場：軽井沢バイブルハウス

■創造を伝える働き人養成講座

日程：2026/5/26-28

会場：洞爺湖

■創世記の歴史が造った世界の旅

日程：2026/9/17-23

(日程が確定しました)

行先：米国グランドキャニオン・デスバレー・マンザナー日本人キャンプ跡・ヨセミテ国立公園など
ノアの洪水で形成された地層や峡谷、洪水後の氷河期に形成された氷河地形を訪れ、講義と見学を通して創世記の出来事に思いを馳せます。

お知らせ

地質学者イ・ジェマン氏の youtube セミナー

「氷河の一角シリーズ」

第一回「ヨブ記から始まる氷河時代」

全12回のセミナーを通して、聖書の歴史と氷河時代の関係がよくわかるでしょう。CGNTV 制作、宇佐神実監修。右のQRコードから読み込みます。



https://www.youtube.com/watch?v=MXs41_q5zWE

献金のお願ひ

国内外に聖書的創造を伝えるため、ご支援をお願いします。

ジェネシスジャパン

ゆうびん振替 00350-7-3364

ゆうちょ銀行 10650-52405611

期間限定特価販売

「古代中国に隠された聖書の神」唐振基著
定価 ¥2,000+ 税
特価 ¥1,800+ 送料
(2026年3月末まで)
All カラー 全365頁



漢字を造った中国

人は、ノアの洪水後に起こったバベルの塔事件で、中国へ移住した人々です。実は、漢字には天地創造からバベルの塔事件までの歴史に基づいて造られたものがたくさんあります。この機会に是非お買い求めください。

お申し込み・お問い合わせ
ジェネシスジャパンまで